

# Makita

## 10型 スライドマルノコ



二重絶縁

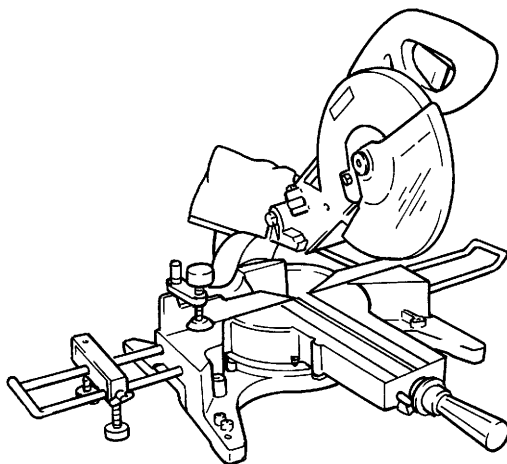
このマークは、電氣的に安全な二重絶縁製品だけに表示されている安全マークで、接地(アース)しなくても感電の心配がなく安心してご使用いただけます。



260mm モデル **LS1012**

(電気ブレーキ付)

### 取扱説明書



このたびは **マキタ10型スライドマルノコ**をお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



## 主要機能

電 動 機……………直巻整流子電動機  
 電 圧……………単相100ボルト  
 電 流……………15アンペア  
 周 波 数……………50-60ヘルツ  
 消 費 電 力……………1,430ワット  
 回 転 数……………毎分3,700回転

ノコ刃寸法(使用できるノコ刃)……………  
 { 外径250mm ~ 260mm  
 内径25.4mm又は25mm

切 断 能 力  
 (高さ×幅)

ノコ刃傾斜角度 ターンベース角度	左45°	0°	右45°
0°	50mm×310mm	91mm×310mm	31mm×310mm
左右45°	50mm×220mm	91mm×220mm	31mm×220mm
右57°		91mm×168mm	

注) ・上記の数値は、外径260mmのノコ刃を使用したときの値を示します。

ターンベース回転角度範囲……………左47°～0°～右57°  
 ノコ刃傾斜角度範囲……………左右0°～45°  
 機 体 寸 法……………奥行990×幅520×高さ625mm  
 重 量……………18.8kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 注意文の **△ 警告** **△ 注意** **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **△ 警告** と **△ 注意** **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

**△ 警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**△ 注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**△ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**注**：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なお注意。

# 安全上のご注意

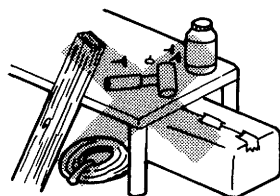
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

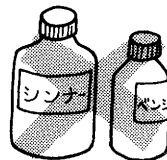
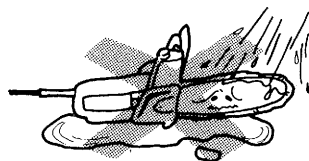
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

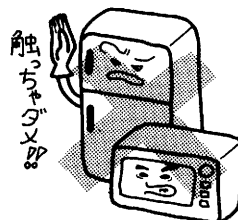
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



4. 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。

(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)



## ⚠ 警告

### 5. 子供を近づけないでください。

- 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

### 6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

### 7. 無理して使用しないでください。

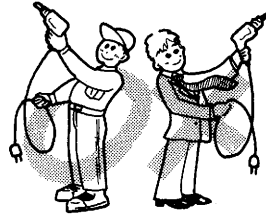
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

### 8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

### 9. きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



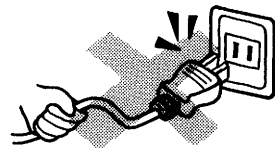
### 10. 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



### 11. コードを乱暴に扱わないでください。

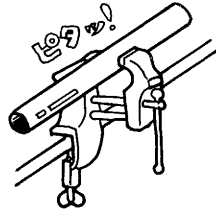
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



## 警告

### 12. 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



### 13. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

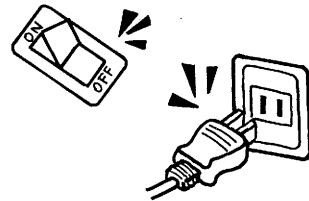


### 14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

### 15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。



### 16. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

### 17. 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

### 18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## ⚠ 警 告

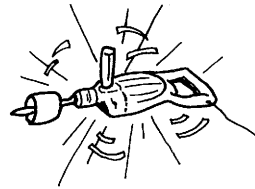
### 19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。



### 20. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。



- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

### 21. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

### 22. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

# スライドマルノコ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、スライドマルノコとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 安全カバーは、絶対に固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
  - ノコ刃が露出したままですと、けがの原因になります。
3. ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のノコ刃を使用してください。
  - けがの原因になります。
4. 切断する材料は、安定性のよい台に置いてください。
  - 台が不安定ですと、けがの原因になります。
5. 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでノコ刃がはさみつけれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
  - ノコ刃がはさみつけられると、けがの原因になります。
6. 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
  - このような台がないとけがの原因になります。
7. 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
8. 使用中は、ノコ刃や回転部、切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
  - けがの原因になります。
9. 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じ、けがの原因になります。その場合、スイッチを切り回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
10. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ノコ刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



## ⚠ 注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
  - 不安定な状態だと、けがの原因になります。
2. 刃物類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - 確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
  - ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、機体の振動やノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
  - 異常があるとけがの原因になります。
6. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
  - 強い反発力が生じけがの原因になります。
7. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
  - 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
8. 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
  - 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
9. 回転するノコ刃で、コードを切断しないように注意してください。
  - 感電の恐れがあります。
10. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。  
また、コードを引っかけたりしないでください。
  - 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
11. 切断といしを取り付けて使用しないでください。

## 注

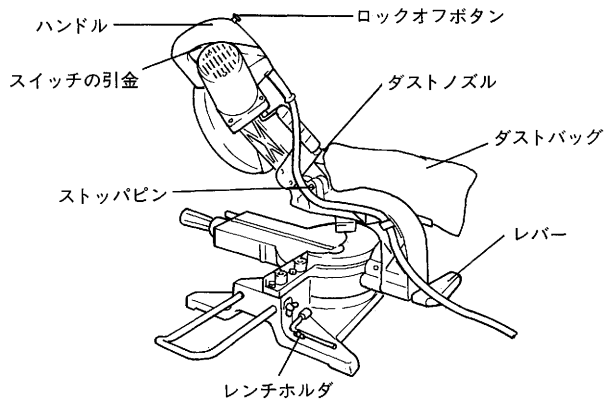
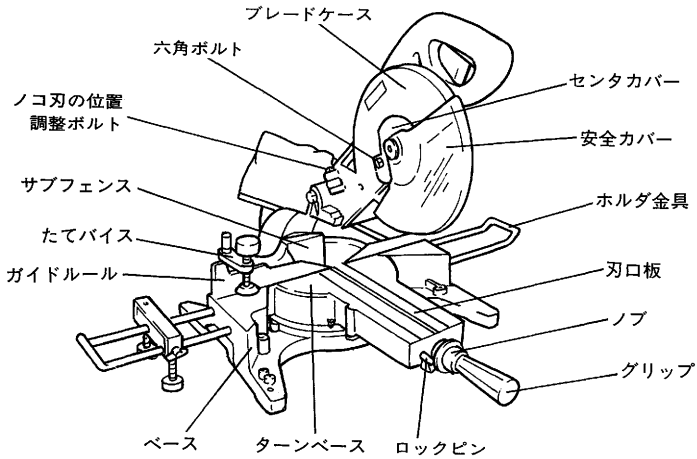
- 電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm <sup>2</sup>	10m
2.00mm <sup>2</sup>	20m

つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

## 各部の名称および標準付属品

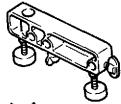


### 通常付属品

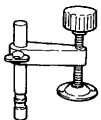
- ダストバッグ



- ホルダアッセンブリ



- たてバイス



- ホルダ金具



- 三角定規



- ノコ刃(本機取付)

- ボックスレンチ13

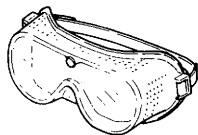


## 別販売品のご紹介

- ・ノコ刃

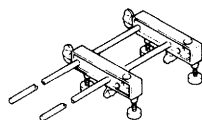
種類	用途	No.	部品番号	寸法(mm)		
				外径	内径	歯数
チップソー	アルミサッシ、プラスチック、木材などの切断に	255-11 A (木工用)	792088-1	255	25	72
		255-11	792079-2			72
	木材の切断に		A-06622	260	25.4 (25)	72
			A-17815			100
			A-07618			64

- ・セーフティゴーグル(保護メガネ)

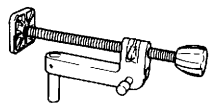


- ・ホルダ金具組立品

長尺材、幅広材の切断に便利です。

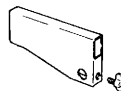


- ・よこバイス

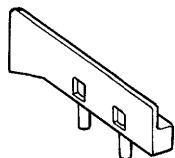


- ・セットプレート(ツマミネジ付)

材料の定寸切断に便利です。

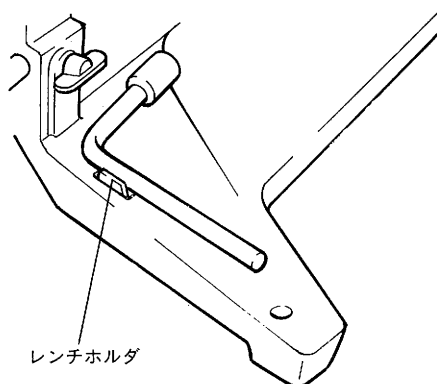


- ・サブフェンス R (ツマミネジ付)



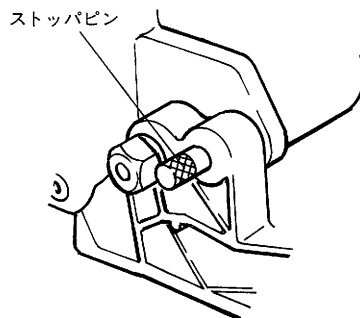
## ボックスレンチの収納

- ボックスレンチはベース後部のレンチホルダに収納してください。

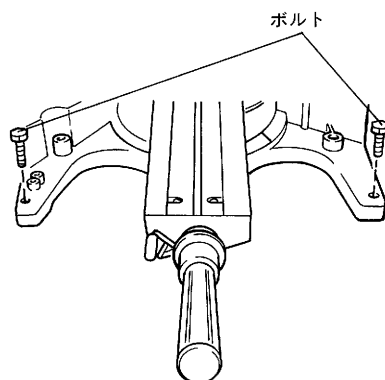


## 本機の設置

- 出荷時には本体が下限位置に固定してあります。ハンドル部を少し押え、ストッパピンを引いて固定を解除してください。



- 傾斜のない平坦な場所にベースの穴を利用して4本のボルトで本機を固定してください。



## ノコ刃の取り付け・取りはずし方

### ⚠ 警告

ノコ刃の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

### ⚠ 注意

ノコ刃を取り付けるときは、本機に付いている矢印とノコ刃に付いている矢印の方向を合わせてください。

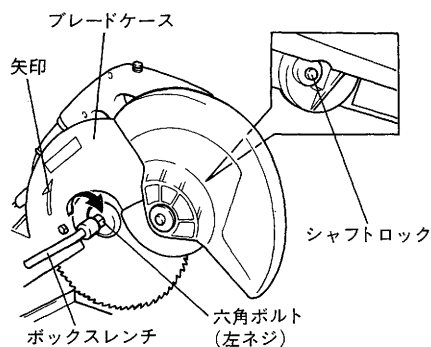
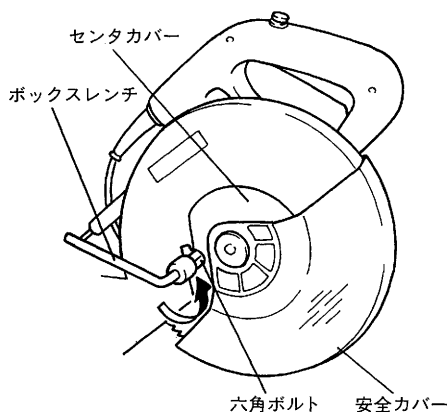
- 矢印に合わせないと、ノコ刃の回転方向が逆回転となり、刃先を痛めたり、けがの原因となります。

ノコ刃の着脱は付属のボックスレンチ以外の工具は使わないでください。

- 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因となります。

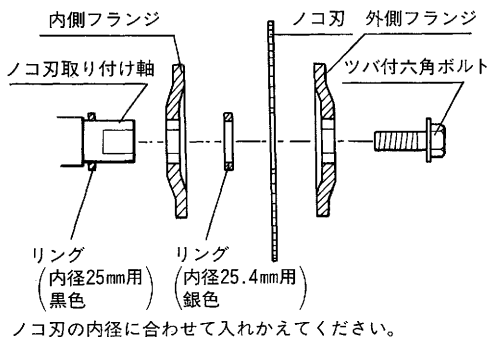
## 取りはずし方

- 本体が上がった位置で、ストッパピンを押し込み、本体が下がらないように固定してください。
- センタカバーを固定している六角ボルトをボックスレンチでゆるめ、安全カバーを持ち上げ、センタカバーを開いてください。
- ノコ刃を締め付けている六角ボルトにボックスレンチを差し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを右方向に回して六角ボルト（左ネジ）をゆるめ、六角ボルト、外側フランジ、ノコ刃をはずしてください。

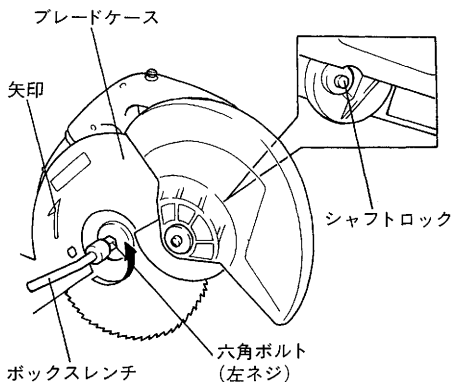


## 取りつけ方

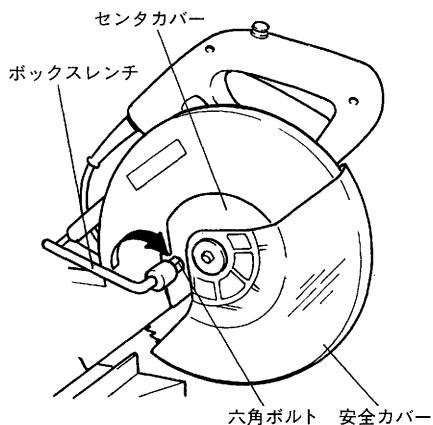
- ノコ刃の取りはずし方の要領でセンタカバーを開き、六角ボルトと外側フランジをはずしてください。
- ブレードケースの矢印とノコ刃の回転方向を合わせて、ノコ刃をリングにはめてください。
- ノコ刃の内径にあわせて、リング(内径25.4mm用：銀色、内径25mm用：黒色)を入れかえてください。



- 外側フランジと六角ボルトを取り付け、六角ボルトにボックスレンチを差し込み、シャフトロックを押し付けながらボックスレンチを左方向に回して、六角ボルト(左ネジ)をしっかり締め付けてください。

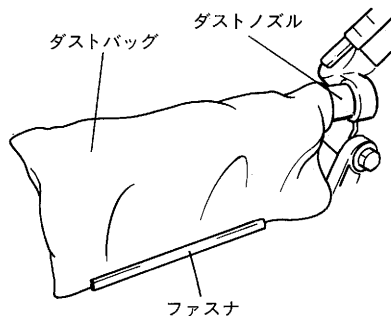


- 安全カバーを元の状態に戻し、センタカバーを六角ボルトでしっかり固定してください。
- ストップピンを引いて、本体の固定を解除してください。
- ハンドル部を下げて、安全カバーが正常に作動することを確認してください。



## ダストバッグ

- ダストバッグをダストノズルに差し込んでください。
- ダストバッグは早めに掃除してください。
- 掃除するときは、ダストバッグを取りはずしファスナを引き抜き、中の切り屑を捨ててください。  
ダストバッグは、口元を回しながら引き抜くとはずしやすくなります。
- なおダストバッグの代わりに、弊社集じん機（モデル406、432、433）を使用させていただきますと、より一層衛生的な作業ができます。

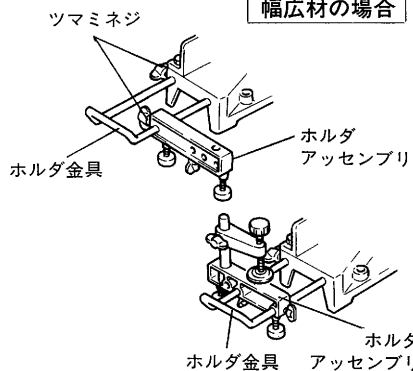


## ホルダ金具、ホルダアッセンプリの取り付け

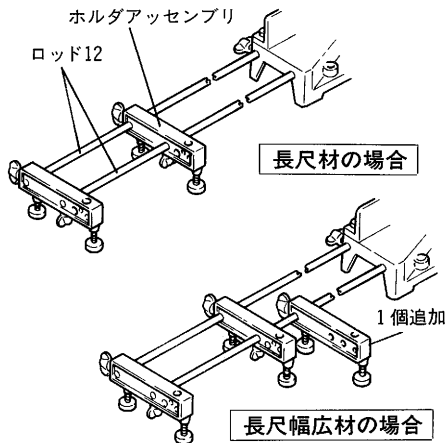
- ホルダ金具、ホルダアッセンプリは材料を安定させるものです。  
図のように取り付けをご使用ください。
- 取り付け後は、ツマミネジでホルダ金具、ホルダアッセンプリを固定してください。
- 長尺材の切断には、特別付属品のホルダ金具組立品を使用させていただきますと、材料をより安定した状態にできます。

ホルダ金具組立品の構成… 2個  
ホルダアッセンプリ…………… 2個  
ロッド12…………… 2本

幅広材の場合



たてバイスを使用する場合

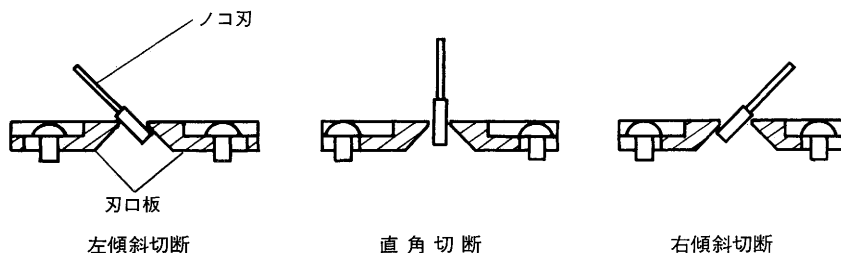
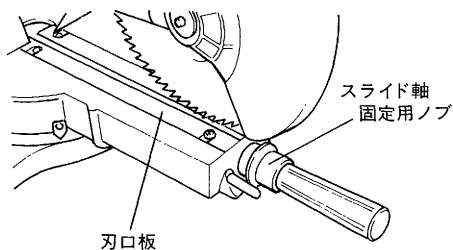


長尺材の場合

長尺幅広材の場合

## 刃口板の調整

- 工場出荷時は、ノコ刃と接触しない位置に刃口板が取り付けられています。ご使用前にノコ刃と刃口板が一致するように、次の手順で調整してください。
- 刃口板を固定している小ネジ（左右各2本）をゆるめ、刃口板が手で容易に動く程度に締めなおしてください。
- ハンドルを下げ、本体固定用のストップパインを押して本体を下限位置に固定し、スライド軸固定用のノブをゆるめてください。
- 本体を一番手前の位置にスライドさせて、刃口板がノコ刃の刃先側面に軽く触れる位置に動かして手前的小ネジを仮締めしてください。
- 本体をガイドルール側へスライドさせて、前記と同様に調整し、ガイドルール側的小ネジを仮締めします。
- 左右の刃口板の仮締めが完了したら、ストップパインを引いて本体を上げ、刃口板固定用小ネジをしっかり締めつけてください。



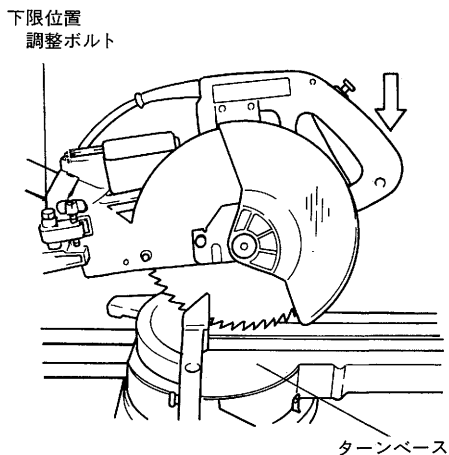
### 注

- ノコ刃の傾斜角度をかえるときは、その都度ノコ刃と刃口板が一致するように、刃口板を調整してください。



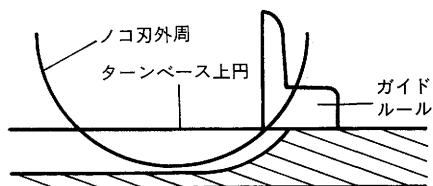
## ノコ刃の下限位置決め調整

- 本機は外径 260 mm のノコ刃を基準にしてノコ刃の下限位置を調整してあります。260 mm 以外のものを使用するときは、材料の切り残しが生じないように、下限位置を調整してください。
- 本体をガイドルール側いっぱいまでスライドさせ、ハンドルをいっぱいに下げてください。
- 下限位置調整ボルトをボックスレンチで回して、ノコ刃の外周がガイドルール面とターンベース面の交差する位置より下がった位置に調整してください。



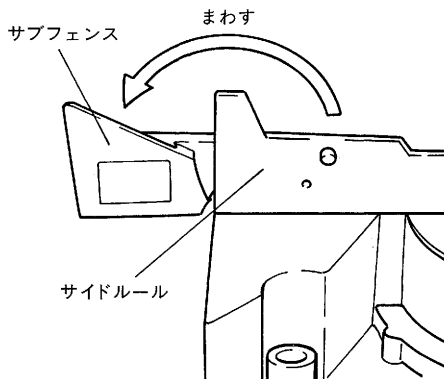
### 注

- ノコ刃を取り替えたときは、ノコ刃がターンベースにあたる恐れがありますので、ノコ刃の下限位置をご確認のうえご使用ください。



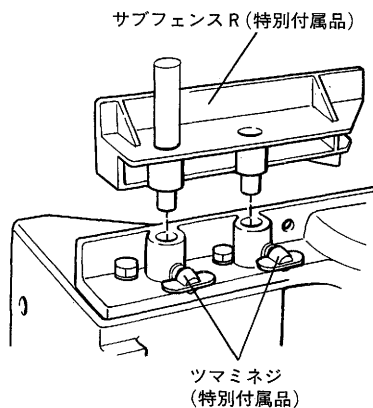
## サブフェンス

- 本機はガイドルールにサブフェンスが付いています。
- 左傾斜の場合は本体及びノコ刃がサブフェンスにあたりますので、サブフェンスを左側へまわして作業してください。



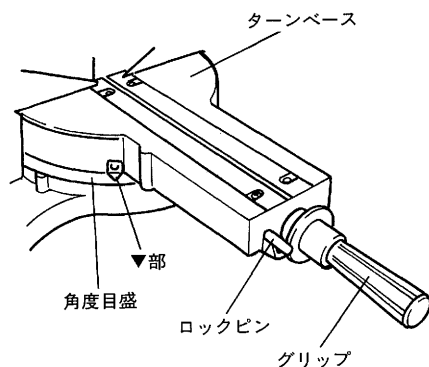
## サブフェンスR(特別付属品)の使い方

- ガイドールの右側にサブフェンスRを取り付けることができます。
- サブフェンスRのロッドをガイドールのたてバイス取付穴に差し込みツマミネジで固定してください。
- 右傾斜の場合は、本体及びノコ刃がサブフェンスRにあたりますので、サブフェンスRをはずしてください。



## 角度切断の切断角度設定

- 本機は、ターンベースが左47°、右57°まで回転します。
- ターンベース固定用のグリップをゆるめ、ロックピンを下げ、ターンベースを動かしてください。ターンベースの▼部を角度目盛に合せ、グリップをしっかりと締め付け、ターンベースを固定してください。

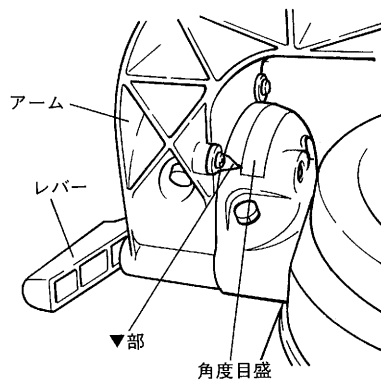
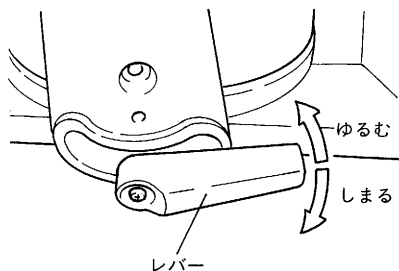


### 注

- 切断角度を変えるときは、ハンドル部が上がった状態で行なってください。
- 角度を変えた後は、ターンベースが動かないようにグリップで確実に固定してください。

## 傾斜切断の切断角度設定

- 本機はノコ刃が左右45°まで傾斜します。  
本機後部にあるレバーをゆるめてください。
- 本体を傾斜させたい方へロックがはずれるまでハンドルを少く強く押してください。
- ▼部を角度目盛に合わせ、レバーをしっかりと締め付け、アームを固定してください。



### 注

- ノコ刃を傾斜するときは、ハンドル部が上がった状態で行なってください。
- 角度を変えた後は、アームが動かないようにレバーで確実に固定してください。

## 材料の固定

### ⚠ 注意

材料の固定は確実に行ってください。

- 材料の固定が不十分な場合、材料が飛ばされけがの原因になります。

### 1. たてバイスの使い方

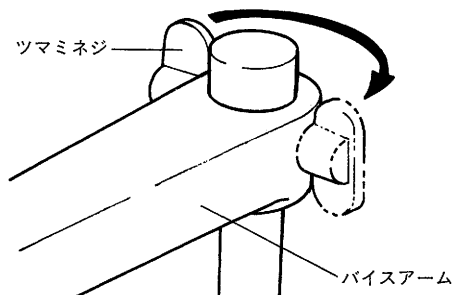
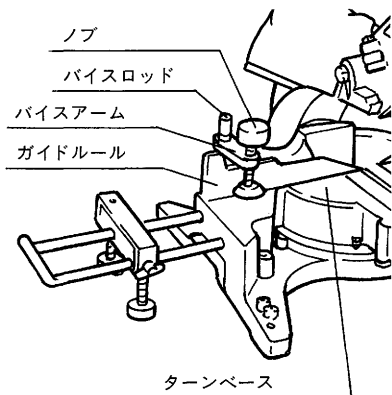
- バイスは、ガイドルールの左右各2箇所とホルダアッセンブリに取り付けられます。

バイスロッドは、ガイドルールまたはホルダアッセンブリのツマミネジで固定します。

- ホルダアッセンブリに取り付けるときは、ホルダアッセンブリを図のようにホルダ金具に取り付けてください。

- 材料の厚さ等に合せてバイスアームの位置を決め、ツマミネジでバイスアームを固定してください。

- バイスアームを固定するツマミネジとガイドルールが接触する場合は、ツマミネジをバイスアームの反対側へ付けてください。



- ハンドルを下げたときまたスライドさせたときにバイスが本体のどこにも接触しないことを確認してください。もしバイスが本体の一部に接触するときは、バイスロッドおよびバイスアームの位置をかえてください。
- 材料をガイドルールとターンベースに密着させ、材料の切断位置を合せ、ノブを右に回して材料を固定してください。
- たてバイスで固定できる最大材料厚さは、91mmです。

## 2. よこバイス(特別付属品)の使い方

### ⚠ 注意

材料の固定は確実に行ってください。

- 材料の固定が不十分な場合、材料が飛ばされけがの原因になります。

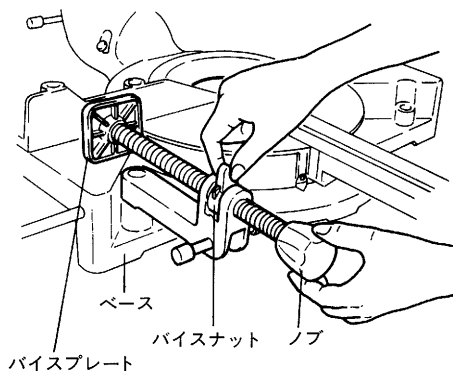
- バイスはベースの左右の2箇所に取り付けることができます。

15°以上の角度切断をされる場合は、バイスをターンベースの回転方向と反対側に取り付けてください。

- バイスは、バイスナットを左側に倒しノブを前後に動かすと自由に移動します。

材料を固定するときは、ノブを押してバイスプレートを材料に当てバイスナットを右側に倒してノブを右に回してください。

- よこバイスで固定できる最大材料幅は、200mmです。



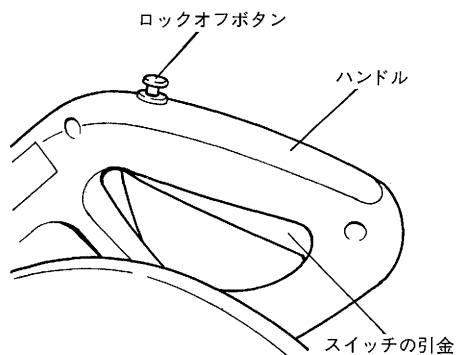
## スイッチの操作

### ⚠ 警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

- スイッチは不用意に入らないようになっています。  
スイッチはロックオフボタンを押し込んだ状態で引金を引けば入り離すと切れます。  
スイッチの引金を離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



## 切断方法

### ⚠ 注意

無理にハンドルを押えついたり、左右に強い力を加えないでください。

- ・モータに無理がかかるばかりでなく本体に強い反発力を生じ、けがの原因になります。

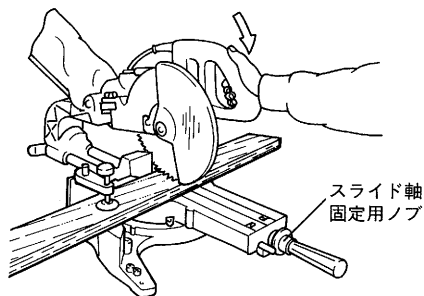
## 1. 押し切り切断(小物材の切断)

### ⚠ 注意

スライド軸固定用のノブをしっかり締めつけてください。

- ・本体の固定が不十分な場合は、本体に反発力を生じけがの原因になります。

- ・高さ91mm×幅80mmまでの材料が切断できます。
- ・本体をガイドルール側いっぱいまでスライドさせてスライド軸固定用のノブで本体を固定してください。
- ・切断角度を設定した後、材料をガイドルールとターンベースに密着させ材料の切断位置を合わせてバイスで確実に固定してください。
- ・ハンドルを握りノコ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れてください。ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押え、静かに下限位置まで下げて切断してください。
- ・材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止ってからハンドルを上げてください。



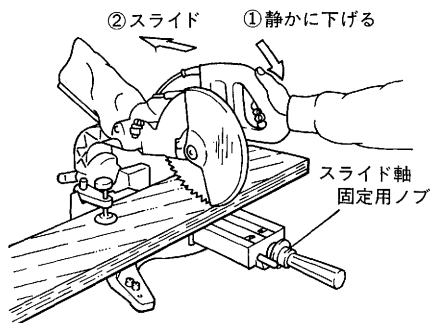
## 2. スライド切断(幅広材の切断)

### ⚠ 注意

必ず本体を手前側いっぱいまで戻した状態で切断してください。

- ・本体を手前側いっぱいまで戻さずに押し切りしたり、手前に引きながらスライド切断しますと本体に反発力を生じけがの原因になります。

- ・高さ91mm×幅310mmまでの材料が切断できます。
- ・スライド軸固定用のノブをゆるめて本体のスライド固定を解除してください。
- ・切断角度を設定した後、材料をガイドルールとターンベースに密着させ、材料の切断位置を合わせてバイスで確実に固定してください。



- ・ハンドルを握り、本体を手前側いっぱいまで引き戻してください。
- ・本体を手前側いっぱいまで戻した状態で、ハンドルを握りスイッチを入れてください。
- ・ノコ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルを軽く押え、静かに下限位置まで下げ、その状態を保ちながらガイドルール側へ本体をスライドさせて切断してください。
- ・材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止ってからハンドルを上げてください。

### 注

- ・スライド切断中は、スライドを途中で止めないでください。スライドを途中で止めると、切断面にノコ刃の傷が深く付いたり、切断精度が悪くなります。
- ・ストップピンを押し込み本体を下側に固定した状態で、スライド切断しないでください。

## 3. 角度切断(ターンベース回転)

- ・18ページ「角度切断の切断角度設定」の項を参照してください。



## 4. 傾斜切断

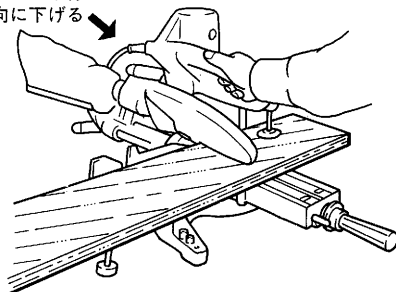
### ⚠ 警告

傾斜切断の場合、必ずノコ刃が完全に停止してからハンドルを上げてください。

- ・切り落とし側の材料がノコ刃に巻き込まれ飛散しけがの原因になります。

- ・直角から左右45°のノコ刃傾斜による切断ができます。45°傾斜のときの切断できる材料は、左45°傾斜のときは高さ50mm×幅310mm右45°傾斜のときは、高さ31mm×幅310mmまでです。
- ・アーム固定用のレバーをゆるめ傾斜角度を設定してください。  
19ページ「傾斜切断の切断角度設定」の項を参照してください。
- ・「押し切り切断」「スライド切断」と同様に材料を固定し、スイッチを入れてください。
- ・ハンドルをノコ刃と平行な方向（ノコ刃の傾斜した方向）へ軽く押え、静かに下限位置まで下げ、その状態のままガイドルール側へスライドさせて切断してください。
- ・材料を切り終わったら、その位置でスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げてください。

ノコ刃と平行な  
方向に下げる



### 注

- ・ハンドルを操作するときは、ノコ刃と平行な方向に力を加えてください。ターンベースと垂直な方向に力を加えたり、切断途中で力の加わる方向が変わると切断精度が悪くなります。

## 5. 複合切断(角度切断+傾斜切断)

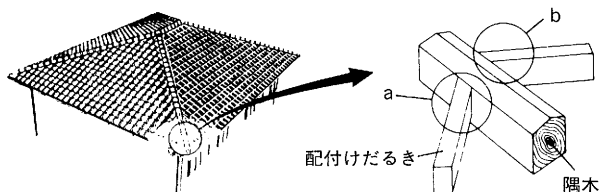
- ターンベースによる角度設定とノコ刃による傾斜角度設定を組合せることによって表に示す範囲の複合切断ができます。

角度切断	傾斜切断
左右45°の時	左右45°まで
右50°の時	左40° 右45°まで
右55°の時	左30° 右45°まで
右57°の時	左25° 右45°まで

- ターンベース角度左右45°、左45°傾斜のときは、高さ50mm×幅220mm、ターンベース角度左右45°、右45°傾斜のときは、高さ31mm×幅220mmまでです。
- 角度切断（押し切り切断、スライド切断）および傾斜切断の項を参照してお使いください。

## 6. 配付けだるき加工

- 複合切断により、80mm角材までの配付けだるきの加工ができます。
- 配付けだるきの隅木胴付部は、図に示す a 部と b 部があります。  
ターンベース回転方向およびノコ刃の傾斜方向により、下記のように a 部と b 部になります。



	ノコ刃左傾斜	ノコ刃右傾斜
ターンベース 右 方 向		
ターンベース 左 方 向		

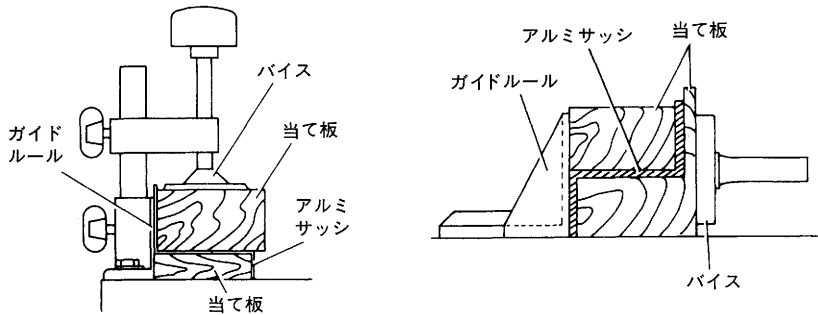
- 屋根勾配に合った切断角度  
(ターンベースの角度・ノコ刃の傾斜角度)を「本機に表示の配付けだるき加工表」より設定してください。

配付け だるき 加工表	屋根勾配	2寸	2寸5分	3寸	3寸5分	4寸	4寸5分	5寸	5寸5分
	ターンベース の 角 度	45.6°	45.9°	46.2°	46.7°	47.1°	47.6°	48.2°	48.8°
	ノコ刃の 傾斜角度	8°	10°	11.5°	13.5°	15°	17°	18.5°	20°

- 「押し切り切断」と同様に本体のスライドおよび材料を固定して切断してください。

## 7. アルミサッシの切断

- アルミサッシ等バイスで直接締め付けると容易に変形する材料は、材料の形状に合せた当て板や治具を使用して、材料が変形しないようにしてから切断してください。
- アルミサッシの切断に際しては、ノコ刃に軽油など切削油を塗布してください。



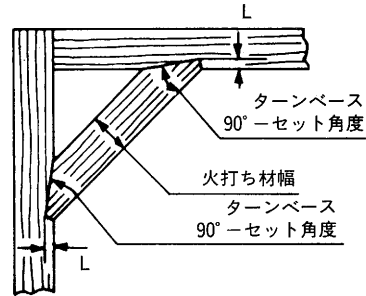
### 注

- 当て板や治具を使用しても確実に固定できないものは、切断しないでください。
- 丸棒など断面が中空でないもの、肉厚が大きいものは、切断しないでください。

## 8. 火打ち材の切断

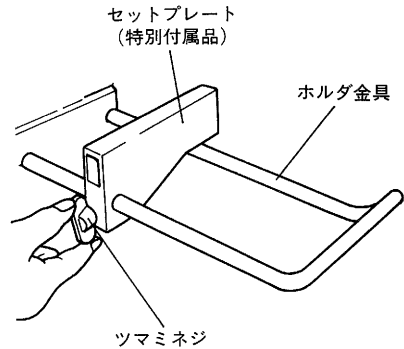
- 火打ち材を切断する場合は、下表を参考に切断角度を設定して切断してください。
- 下の表は火打ち材幅に対する切断角度を表しています。

火打ち材幅	ターンベースの角度	L
75mm(2寸5分)	53°	15mm (5分)
90mm(3寸)	51.7°	



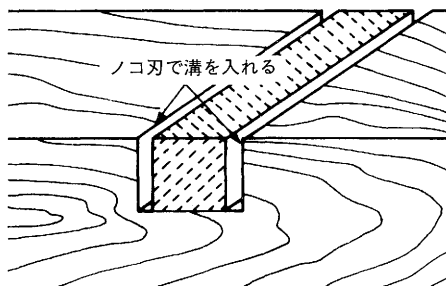
## 9. 定寸切断

- 材料を255mm～430mmの長さを繰返し定寸切断される時は、ホルダ金具に特別付属品のセットプレートを取り付け、ご希望の切断寸法にセットプレートを合わせてツマミネジで固定してください。
- 材料を定寸切断しないときは、ツマミネジをゆるめてセットプレートを手前へ倒してください。
- ホルダ金具組立品（特別付属品）を使用すれば255mm～2,270mmの定寸切断が可能です。



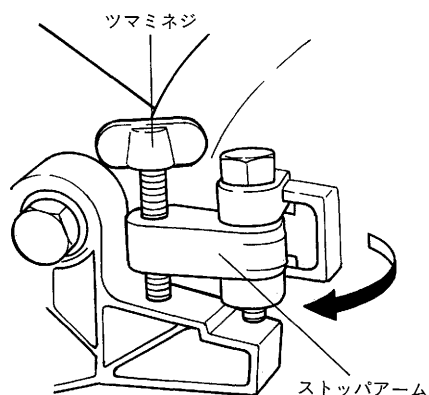
## 溝を入れる加工

- ノコ刃の下限位置をストップアームのツマミネジで調整することにより、図に示すような溝加工ができます。
- スライド切断で溝を加工したのち、斜線部は、のみ等で取り除いてください。



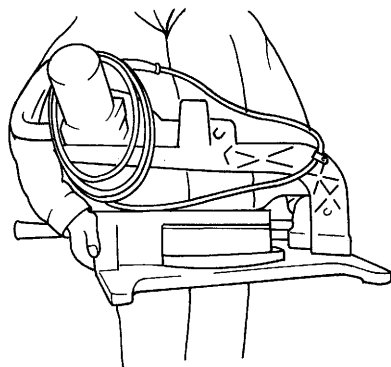
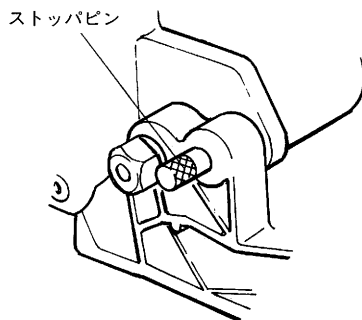
- ツマミネジの調整は、次の手順で調整してください。

- (1) ストップアームを図のように回転させてください。
- (2) ご希望のノコ刃の下限位置でとまるようにツマミネジを回して調整してください。
- (3) ハンドルを下げたとき、ご希望のノコ刃の下限位置でとまることを確認してください。



## 本機の持ち運び

- ノコ刃傾斜角度は0°、ターンベース角度は右57°、スライドは手前側いっぱいまで戻した位置でそれぞれを固定してください。
- ハンドルを下限位置まで下げて、アーム部のストップピンを押し込み、本体が上がらないように固定してください。
- 本機のベースの両側を抱えるようにして、持ち運んでください。  
ホルダ、ダストバッグ、バイス等を取り外しますと、バランス良い無理のない状態で持ち運びできます。



## 保守・点検について

### ⚠ 警告

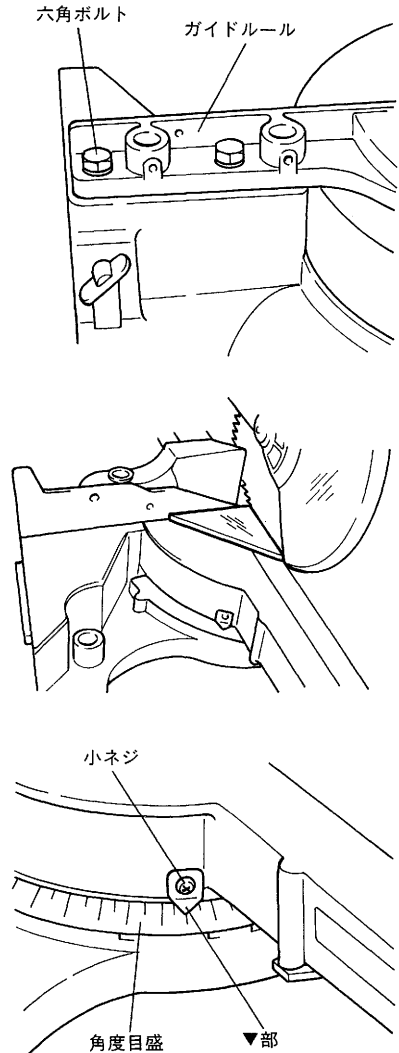
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。  
・プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

### 切断角度の調整

・切断角度は出荷時に調整してありますが、万一輸送中やご使用中に狂いが生じた場合は、次の手順で調整してください。

#### (1) 角度切断時の角度調整

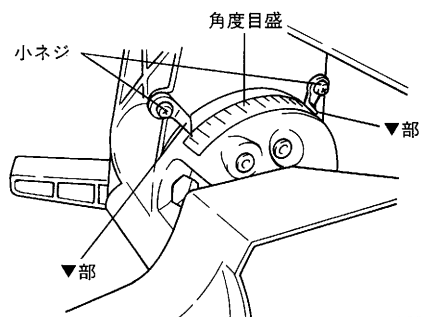
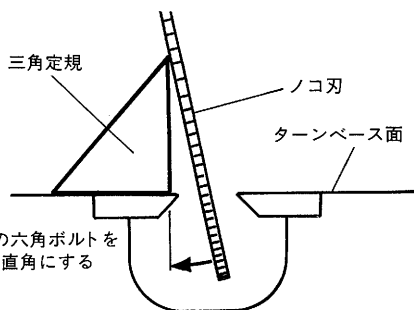
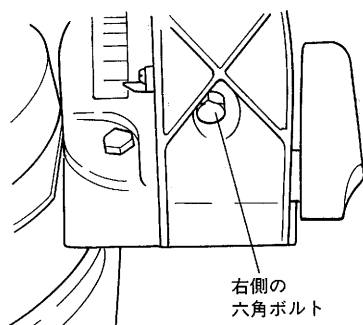
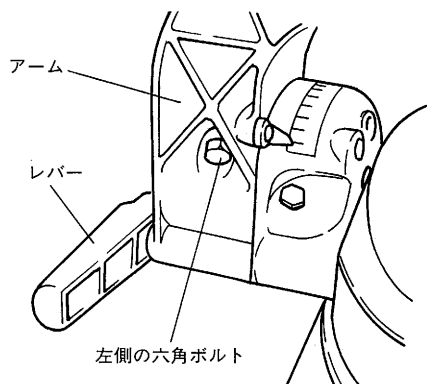
- ・本体をガイドルール側へスライドさせ、ノブでスライド軸を固定してください。
- ・ターンベース固定用のグリップをゆるめてください。
- ・ターンベースの▼部とベースの角度目盛 $0^{\circ}$ を合せ、ターンベースを左右に少し動かしてターンベースの位置を安定させてください。  
(▼部と $0^{\circ}$ が一致しない場合がありますが、そのままにしておいてください。)
- ・ガイドルールを固定している4本の六角ボルトをボックスレンチ等でゆるめてください。
- ・ハンドルを下げて、アーム部のストッパピンで固定してください。
- ・ノコ刃側面とガイドルール面にカネ尺または三角定規をあて、ノコ刃とガイドルールが直角になるようにガイドルールを調整します。
- ・ガイドルールが動かないように注意しながら、六角ボルトを静かに左端から順番に締め付けてください。
- ・ターンベースの▼部と角度目盛の $0^{\circ}$ が一致しているか確認してください。▼部と角度目盛の $0^{\circ}$ が一致していないときは、小ネジをゆるめて▼部を角度目盛の $0^{\circ}$ に合せてください。





## (2) 傾斜切断時の角度調整(直角位置)

- 本体をガイドルール側へスライドさせ、ノブでスライド軸を固定し、ハンドルを下げてアーム部のストッパピンで固定してください。
- アーム後部のレバーをゆるめてください。
- アームのロックがかかっていることを確認してください。
- アーム左側の六角ボルトをボックスレンチで左に2～3回転させてください。
- アーム右側の六角ボルトをボックスレンチで左に2～3回転させ、本体を左方向に傾けてください。
- ターンベース面とノコ刃の側面に三角定規をあて、アーム右側の六角ボルトを右に回してターンベースとノコ刃が直角になるように調整してください。
- 次にアーム左側の六角ボルトを止まるまで右に回してください。
- 調整が終了したら、レバーをしっかり締め付け本体を固定してください。
- アームの2つの▼部とアームホルダの角度目盛の0°がそれぞれ一致しているか確認してください。  
▼部と角度目盛の0°が一致していないときは、小ネジをゆるめて▼部を角度目盛の0°に合せてください。

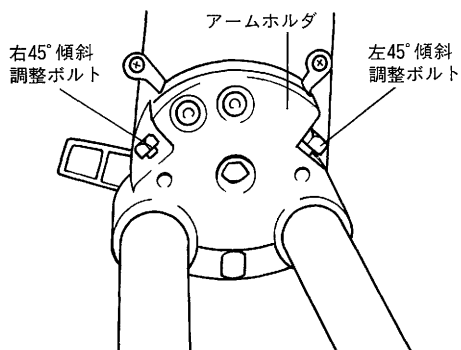


### (3) 傾斜切断時の角度調整(左右45°位置)

- ・ターンベースとノコ刃とが直角になったときに、▼部がアームの角度目盛の0°に合っているか確認してください。  
(前傾「傾斜切断時の角度調整(直角位置)」の項を参照してください。)
- ・レバーをゆるめて本体を左45°に傾斜させてください。
- ・このとき、▼部がアームの角度目盛の45°に一致しているか確認してください。

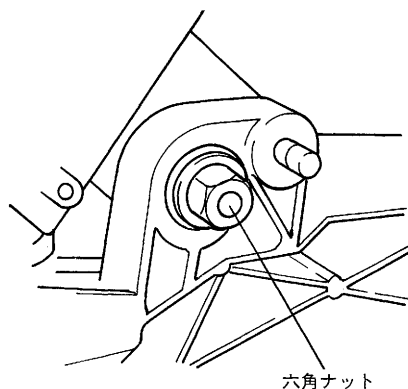
▼部と角度目盛の45°が一致していないときは、アームホルダ側面の六角ボルトをボックスレンチで回転させ▼部が角度目盛の45°に合うように六角ボルトで調整してください。

- ・同じように右45°傾斜位置も調整してください。



### 本体のヒンジ部調整

- ・本体がスムーズに上下し、かつ切断時の直角精度を得るために支点部の締め付けが調整されています。
- ・再調整をするときは、どの位置からハンドルを離しても本体が元の位置へ戻るよう六角ナットで調整してください。



## カーボンブラシの交換

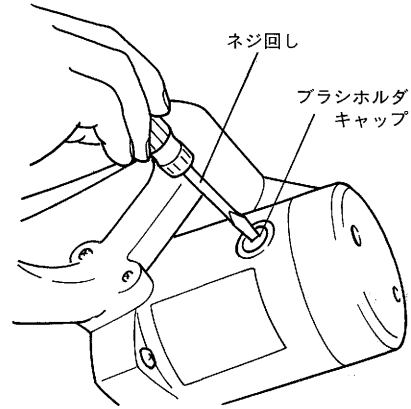
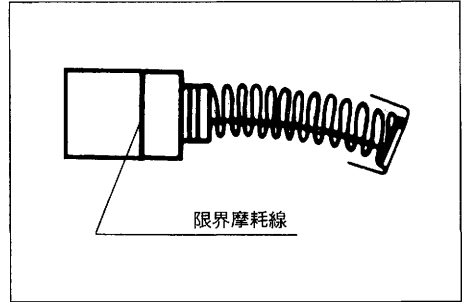
- カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。

カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。

新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。

- ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。

カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行なってください。

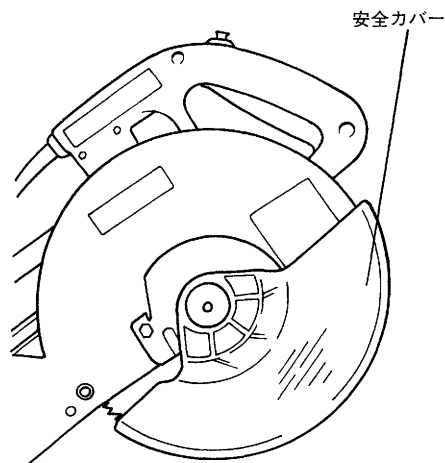


## 安全カバーの動作点検と整備

- 安全カバーは、ハンドルを下げると自動的に上がり、切り終わってハンドルを上げると、元に戻ります。

この安全カバーの動作が不完全なまま使用したり、故意に任意の位置で固定して使用することは法令により禁止されています。あなたの安全を守るためにも正常な状態で使用してください。動作が異常なときは速やかに修理に出してください。

安全カバーに切り粉などが付着してノコ刃先が見にくくなったときは湿った布で切り粉などを拭きとってください。



## ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または裏面掲載の最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。







# 全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141	足立営業所	(03) (3899) 5855	東大阪営業所	(06) (6746) 7531
札幌営業所	(011) (783) 8141	大田営業所	(03) (3763) 7553	関西物流センター	(0725) (46) 6715
旭川営業所	(0166) (29) 0960	江戸川営業所	(03) (3653) 5171	南大阪営業所	(0725) (46) 6611
釧路営業所	(0154) (37) 4849	多摩営業所	(042) (384) 8411	奈良営業所	(0742) (61) 6484
函館営業所	(0138) (49) 9273	立川営業所	(042) (542) 1201	橿原営業所	(0744) (22) 2061
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100	横浜支店	(045) (472) 4711	和歌山営業所	(073) (471) 4585
帯広営業所	(0155) (36) 3833	横浜営業所	(045) (472) 4711	田辺営業所	(0739) (25) 1027
北見営業所	(0157) (26) 9011	川崎営業所	(044) (811) 6167	沖繩営業所	(098) (874) 1222
仙台支店	(022) (284) 3201	平塚営業所	(0463) (54) 3914	兵庫支店	(0794) (82) 7411
仙台営業所	(022) (284) 3201	相模原営業所	(042) (757) 2501	三木営業所	(0794) (82) 7411
古川営業所	(0229) (24) 0698	湘南営業所	(0466) (87) 4001	尼崎営業所	(06) (6437) 3660
青森営業所	(017) (764) 4466	静岡支店	(054) (281) 1555	神戸営業所	(078) (672) 6121
八戸営業所	(0178) (43) 3321	静岡営業所	(054) (281) 1555	姫路営業所	(079) (281) 0204
盛岡営業所	(019) (635) 6221	沼津営業所	(055) (923) 7811	広島支店	(082) (293) 2231
水沢営業所	(0197) (22) 5101	浜松営業所	(053) (464) 3016	広島営業所	(082) (293) 2231
郡山営業所	(024) (932) 0218	甲府営業所	(055) (276) 7212	福山営業所	(084) (923) 0960
いわき営業所	(0246) (23) 6061	金沢支店	(076) (249) 5701	三原営業所	(0848) (64) 4850
新潟支店	(025) (247) 5356	金沢営業所	(076) (249) 5701	岡山営業所	(086) (243) 4723
新潟営業所	(025) (247) 5356	七尾営業所	(0767) (52) 3533	宇部営業所	(0836) (31) 4345
長岡営業所	(0258) (30) 5530	富山営業所	(076) (451) 6260	徳山営業所	(0834) (21) 5583
山形営業所	(023) (643) 5225	高岡営業所	(0766) (21) 3177	鳥取営業所	(0857) (28) 5761
酒田営業所	(0234) (26) 3551	福井営業所	(0776) (35) 1911	松江営業所	(0852) (21) 0538
秋田営業所	(018) (863) 5205	岐阜支店	(058) (274) 1315	高松支店	(087) (867) 6411
宇都宮支店	(028) (634) 5295	岐阜営業所	(058) (274) 1315	高松営業所	(087) (867) 6411
宇都宮営業所	(028) (634) 5295	多治見営業所	(0572) (22) 4921	徳島営業所	(088) (626) 0555
小山営業所	(0285) (25) 5559	松本営業所	(0263) (25) 4696	松山営業所	(089) (951) 7666
水戸営業所	(029) (248) 2033	長野営業所	(026) (225) 1022	宇和島営業所	(0895) (22) 3785
土浦営業所	(029) (821) 6086	上田営業所	(0268) (22) 6362	高知営業所	(088) (884) 7811
関東物流センター	(048) (771) 3451	飯田営業所	(0265) (24) 1636	福岡支店	(092) (411) 9201
埼玉支店	(048) (777) 4801	名古屋支店	(052) (571) 6451	福岡営業所	(092) (411) 9201
さいたま営業所	(048) (777) 4801	名古屋営業所	(052) (571) 6451	北九州営業所	(093) (551) 3481
川越営業所	(049) (222) 2512	一宮営業所	(0586) (75) 5382	飯塚営業所	(0948) (26) 3361
熊谷営業所	(048) (521) 4647	東名古屋営業所	(0561) (73) 0072	久留米営業所	(0942) (43) 2441
越谷営業所	(0489) (76) 6155	知多営業所	(0569) (48) 8470	佐賀営業所	(0952) (30) 6603
前橋営業所	(027) (232) 5575	岡崎営業所	(0564) (22) 2443	長崎営業所	(095) (882) 6112
高崎営業所	(027) (365) 3688	豊橋営業所	(0532) (46) 9117	佐世保営業所	(0956) (33) 4991
両毛営業所	(0276) (46) 7661	四日市営業所	(059) (351) 0727	熊本支店	(096) (389) 4300
千葉支店	(043) (231) 5521	津営業所	(059) (232) 2446	熊本営業所	(096) (389) 4300
千葉営業所	(043) (231) 5521	伊勢営業所	(0596) (36) 3210	八代営業所	(0965) (43) 1000
市川営業所	(047) (328) 1554	京都支店	(075) (621) 1135	大分営業所	(097) (567) 3320
成田営業所	(0476) (73) 8101	京都営業所	(075) (621) 1135	宮崎営業所	(0985) (26) 1236
木更津営業所	(0438) (23) 2908	福知山営業所	(0773) (23) 7733	鹿児島営業所	(099) (267) 5234
柏営業所	(04) (7175) 0411	大津営業所	(077) (545) 5594	沖繩営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	(03) (3816) 1141	彦根営業所	(0749) (22) 6184		
東京営業所	(03) (3816) 1141	大阪支店	(06) (6351) 8771		
中野営業所	(03) (3337) 8431	大阪営業所	(06) (6351) 8771		

881780C5

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)